

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるアカシオ・サングイネアが最大3細胞/ml、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大32細胞/ml確認されました。

また、柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、麻痺性貝毒原因プランクトンであるギムノディニウム・カテナータムが青瀬山で0.05細胞/ml確認されました。アレキサンドリウム属とギムノディニウム・カテナータムは、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

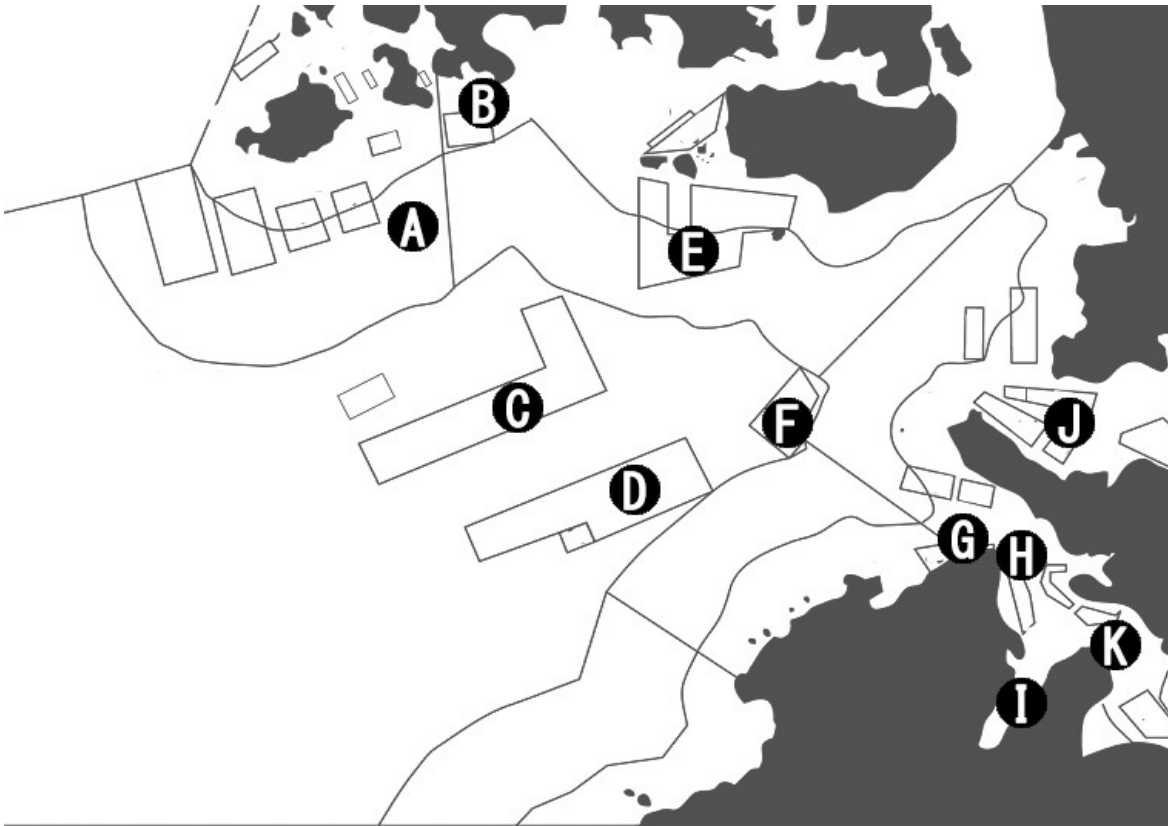
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サングイネア	アレキサンドリウム 属
A 藻津 (7.9m/35.2m) 【09:31】	0	21.5	21.5	7.9	0	0	0
	★ 5	20.9	34.2	7.0	0	1	0
	10	20.7	34.4	6.7	0	0	0
	15	20.6	34.4	6.6	-	-	-
	20	20.5	34.4	6.6	-	-	-
B 宇須々木 (8m/25.9m) 【09:24】	0	21.6	31.9	7.4	0	0	0
	★ 5	21.0	34.2	7.0	0	0	0
	10	20.7	34.3	6.7	0	0	0
	15	20.6	34.3	6.7	-	-	-
	20	20.5	34.4	6.6	-	-	-
C 大島中央 (10.6m/30.9m) 【09:40】	0	21.3	33.3	7.2	0	0	0
	5	21.1	34.4	7.3	0	0	0
	★ 10	20.8	34.4	7.1	0	0	0
	15	20.5	34.4	7.2	-	-	-
	20	20.4	34.4	7.2	-	-	-
D 小筑紫中央 (10.5m/48.8m) 【09:51】	0	21.7	34.3	7.1	0	0	0
	5	21.0	34.4	6.8	0	0	0
	★ 10	20.8	34.4	6.8	0	0	0
	15	20.7	34.4	6.7	-	-	-
	20	20.4	34.4	6.7	-	-	-
E 真珠 (7.6m/31.2m) 【09:10】	0	21.0	31.7	7.4	0	0	2
	5	21.1	34.3	7.3	0	1	0
	★ 10	20.9	34.3	7.2	0	0	0
	15	20.7	34.3	7.0	-	-	-
	20	20.6	34.3	7.1	-	-	-
F シラハエ (9.2m/36.2m) 【10:02】	0	21.8	28.3	7.5	0	0	0
	★ 5	21.3	34.4	7.4	0	0	0
	10	21.0	34.3	7.4	0	0	0
	15	20.7	34.3	7.3	-	-	-
	20	20.6	34.3	7.2	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	クロロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サングイネア	アレキサンドリウム 属
G 立石 (9m/22.9m) 【10:13】	0	21.9	31.4	7.3	0	0	32
	5	21.1	34.4	7.0	0	1	6
	10	20.9	34.4	7.4	0	0	0
	15	20.7	34.4	7.2	-	-	-
	★ 20	20.5	34.4	7.1	0	0	0
H 一切田 (8.3m/21m) 【10:44】	0	21.9	33.6	7.4	0	1	0
	5	21.6	34.4	7.4	0	0	0
	10	21.0	34.4	7.4	0	0	0
	15	20.7	34.3	7.3	-	-	-
	★ 20	20.3	34.4	6.8	0	0	0
I 栄喜奥 (6.5m/12.7m) 【10:27】	0	22.2	30.8	7.1	0	0	4
	5	21.3	34.3	7.2	0	0	0
	8	20.9	34.4	7.2	0	0	6
	★ 10	20.8	34.3	7.2	0	0	0
J ヒロウラ (6m/24.3m) 【10:57】	0	22.0	10.4	8.1	0	3	3
	5	21.3	34.3	7.2	0	1	0
	10	20.9	34.3	7.0	0	0	0
	15	20.7	34.3	7.3	-	-	-
	★ 20	20.5	34.4	7.0	0	0	0
K 青瀬山 (4.9m/15.9m) 【10:35】	0	22.1	33.2	6.9	0	1	0
	5	21.4	34.3	7.4	0	0	0
	★ 8	20.9	34.3	7.2	0	0	0
	10	20.9	34.4	7.3	0	1	0
	15	20.5	34.4	6.8	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津 E: 真珠 I: 栄喜奥
- B: 宇須々木 F: シラハエ J: ヒロウラ
- C: 大島中央 G: 立石 K: 青瀬山
- D: 小筑紫中央 H: 一切田

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。